

令和2年度 高崎商科大学附属高等学校 学校評価一覧表(様式 I)

羅 針 盤			方 策	担当部署
評価対象	評価項目	具体的数値項目		
I 学習環境を整備し、特色ある学校づくりに努めていますか。	1 生徒の能力や特性を育成する機会を与えていますか。	1 様々な学習やその他の活動の機会が提供されていると評価している生徒が70%以上である。	自主自立の学校教育目標達成のため、生徒の個性を生かし、希望進路に沿った科・コースの教育課程を編成、教育内容を充実させる。また、課外活動にも積極的な参加を促し調和のとれた人格形成を目指す。ESD教育の「国際理解」「環境」「世界遺産・地域の文化財」に関する教育を中心に実施。ESD委員会の充実を図る。	・企画運営会議 (アンケートNo.1&14)
		2 生徒の能力や技術向上のための学習環境が整備されていると評価している生徒が70%以上である。	「総合的な探究の時間」の内容を検討し、主体的で探究的な学習を通じて、問題解決能力・情報収集力・プレゼンテーション能力の育成に努める。また、Wi-fi環境を整備し、授業でタブレット等の情報端末を積極的に利用し、問題解決につなげることができるスキルを身に付けさせる。	・教科部会 (アンケートNo.2&15)
		3 放課後、学習室を利用して、自主学習をする生徒が1日10人以上である。	1年生にはオリエンテーションの中で学習室についての説明を司書が行い利用の仕方を教えていく。定期考査前を中心に自主学習の場として利用を促していくとともに、日常的にも利用してもらうよう声掛けをする。	・図書運営部会 ・科、コース部会
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	1 生徒による授業アンケートを年2回実施し、授業改善に活かしている。	シラバスを活用した授業を展開し、授業アンケートを7月と12月に実施。その結果を元にして、教科部会会議を行う。公開授業を実施し、指導力の向上を図る。	・教科部会
		2 生徒の実態をふまえたわかりやすく工夫された授業が行われていると評価している生徒が70%以上である。	各科・コースの生徒の学習能力や進路希望を把握し、基礎から発展まで、それぞれに合った教材選定と授業内容の検討を行う。また、視聴覚教材やアクティブラーニングを導入し、わかりやすく積極的に参加しやすい授業運営に努める。	・教科部会 (アンケートNo.3&16)
		3 家庭学習のための教材や課題を提供していると評価している生徒が70%以上である。	授業の復習や予習に必要な学習の指示や補助教材を提供することで、授業の理解度を上げ、生徒の学習意欲向上につなげる。	・教科部会 (アンケートNo.5&18)
		4 学校図書館における1日平均貸し出し数が20冊以上である。	1年生にはオリエンテーションの中で図書室についての説明を司書が行い利用の仕方を教えていく。図書室主催の行事を増やし、図書室に来室する生徒の数をまずは増やしていきたい。	・図書委員会
	3 生徒は確かな学力を身につけていますか。	1 生徒による授業アンケートを年2回実施し、授業改善に活かしている。	シラバスを作成し計画的に授業を進める。またSDGsを意識した授業を積極的に展開し、主体性・課題解決能力を育む。授業アンケートを7月と12月に実施。その結果を元にして、教科部会会議を行う。公開授業を実施し、指導力の向上を図る。	・教科部会
		2 生徒の実態をふまえた到達度に応じた補習やアドバイスがされていると評価している生徒が70%以上である。	教科・科目の特性を考慮し習熟度別授業や少人数授業、個別指導を実施する。科・コース毎に学習実態調査を実施し、教科の授業改善を進める。また、Classiの学習記録機能を利用し、学習の悩みや問題点を把握し、適切なアドバイスを与える。	・教科部会 (アンケートNo.4&17)
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	1 組織的、継続的な指導をしていますか。	1 科・コース委員会、生徒指導委員会において、目標達成のための会議を週1回程度行っている。定期的に「科・コース通信」を発行する。	科・コースの運営状況や生徒に関する情報交換を行う。毎週1回の企画運営会議で、主任が報告し、「委員会だより」にまとめて、全職員に配布する。科・コース主任を中心にして生徒・保護者向けの「科・コース通信」を定期的に発行する。	・科・コース部会 ・生徒指導部会
		2 教員による週番業務、校内安全点検にて清掃状況、管理状況の点検、確認を行う。外部講師、職員による交通指導を行う。	年度初めの交通安全指導、1年生は警察職員による交通安全講話を開催する。生徒指導重点目標を掲げ具体的な運動に取り組む。昼休み時間の校内巡視の実施。ロッカーの施錠の習慣化と貴重品の管理のを徹底させ盗難・紛失を防ぐ。あわせて道徳教育により倫理意識を高める。	・生徒指導部会
	2 生徒がそれぞれの特性や興味を生かして活動できる場を提供していますか。	1 転退学者数、年間15人以下、出席率99%以上を目標とする。SNSへの理解を深めトラブルを防止する。	コース会議、生徒指導会議等により、問題を抱えている生徒の早期発見、早期対応に努め、転退学者、生徒の怠慢による遅刻の減少に努める。外部講師の講演等でSNSへの理解を深めトラブルを防止する。	・生徒指導部会
		2 生徒の特性や関心を生かせる学習やクラブ活動の場を提供していると評価している生徒が80%以上である。	数多くの文化部・運動部を設け、多種多様な生徒の興味関心や能力を発揮し伸ばせる場を提供する。また、集団における規律や協力の大切さを学び、人間としての成長を促す。	・学年部会 (アンケートNo.6&19)
		3 生徒が心身ともに成長できる学級活動や学校行事が提供されていると評価している生徒が80%以上である。	ロングホームルーム・各種委員会活動・学校行事において、積極的に発言し行動できるよう、役割を与え成長を促す。集団の中で、仲間と相談し協力して物事に取り組みことで、リーダーシップや責任感を身に付けられるよう助言を与え成長を促す。	・科・コース部会 (アンケートNo.7&20)
		4 校内・校外で実施される活動について情報が提供されていると評価している生徒が80%以上である。	校内・校外で実施される各種コンテストやボランティア活動などの情報を提供し、積極的に参加を促し、それぞれの特技や能力を発揮し活躍できる場を与える。様々な人々との交流や体験を通して、視野を広げ社会とのかかわりについて理解を深める機会を提供する。	・科・コース部会 (アンケートNo.8&21)

令和2年度 高崎商科大学附属高等学校 学校評価一覧表(様式I)

羅 針 盤			方 策	担当部署
評価対象	評価項目	具体的数値項目		
Ⅳ 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	1 計画的な指導を行っていますか。	1 各学年で適切な進路指導関係の行事を計画し、適切な助言や情報が提供されていると評価している生徒が80%以上である。	1学年での進路講演会, 系列大学体験入学, 1, 2学年での科・コース毎に行う進学ガイダンス(卒業生との懇談), 3学年での校外進路相談会, 校内進路説明会, 総合学習での外部講師による授業を計画する。「進路資料」を6月中旬に発行し情報を提供する。	進路指導部会 (アンケートNo.11&24)
		2 生徒の将来の志望について理解し適切な助言や情報を提供していると評価している保護者が80%以上である。	保護者面談等により保護者の理解を図る。また, 必要に応じて担任と保護者が連絡を取り, 生徒理解を深める。保護者を対象とした進路説明会, 進路講演会を計画する。	進路指導部会 (アンケートNo.9&22)
	2 生徒が自らの進路について真剣に考え, その実現に向けて取り組んでいますか。	1 生徒の適性や能力を把握するための機会を提供していると評価している生徒が80%以上である。	「スタディ・サポート」「適性検査」等を実施し, 進路意識を高め, 自己理解を深めさせる。生徒との個別面談を利用し, 進路実現のため目標を持って学習するよう指導する。	進路指導部会 (アンケートNo.10&23)
		2 進路実現に向け積極的に取り組む指導を重視する。共通テスト受験者100名以上, 国公立大学30名以上, 中堅以上私大合格者40名以上を目指す。	進路希望および学力レベルに適した授業や補習を展開し, 全体の学力向上を図る。定期的に委員会を開き, 学習到達度や模試結果を分析, 検討し, 大学入学共通テストや国公立大学個別学力試験に対応できる十分な学力を養えるよう適切な教材や資料を提供する。また, 成績不振生徒を対象とした補習も実施し進路達成に必要な基礎学力の定着を図る。	進路指導委員会
Ⅴ いじめのない学校作りに努めていますか。	1 いじめ防止や発見のための具体的対策を行っていますか。	1 面談やアンケートを通じて, 学校が生徒理解に努めていると評価している生徒が70%以上である。	学期に一度「学校生活アンケート」を実施し, 生徒の人間関係やいじめの有無を把握し, 早期発見・早期解決につなげる。また, 授業や清掃など日常観察や面談を通じて, 生徒理解に努め, 生徒との信頼関係を築いておく。生徒指導委員会による情報の共有と, 共通理解もとの生徒指導の徹底を図る。	生徒指導部会 (アンケートNo.12 &25)
	2 生徒の人間的成长を助ける機会を提供していますか。	2 学校は講演会等を開き, 命や思いやりの心を学ぶ機会を提供していると評価している生徒が70%以上である。	第2学年生徒を対象に, 「生・生きる」を主題に講演を開催し, 自分や自分以外の人の命の重さや生きることについて「考え, 話し合い, 発表する」アクティブラーニング形式の授業を実施する。部活動や学校行事等の学校生活全般を通じて, 公正で協力的な態度を養えるよう指導する。SNSに関係した倫理意識の高揚と, トラブルの防止への指導。ハイパーQUのクラス運営への活用。	生徒指導部会 (アンケートNo.13 &26)
Ⅵ 開かれた学校づくりに努めていますか。	1 家庭・中学校等に積極的に情報発信をしていますか。	1 商大附高だより(年2回), 同窓会報(年1回)を発行し, 学校生活の様子や学校行事について情報発信する。	商大附高だよりを年2回, 同窓会報を年1回発行できるように, 父母の会の役員, 卒業生とともに編集を行い, 学校生活や学校行事の様子を記録したり卒業生の活躍を取材する。また, 父母の会の役員や卒業生に執筆を依頼し, 情報発信する内容の質を高めるよう努める。	・各学年
		2 学校の教育活動を広く理解してもらうため, ホームページの更新を週2回程度のペースで必要に応じて実施する。また, WEBオープンスクール, 3回実施のオープンスクールの内容を充実させる。中学校主催の学校説明会において本校を印象付け, オープンスクール参加を促す。	ホームページは本校の特色を簡潔明瞭に伝える内容にし, 中学校や中学生・保護者を対象とした広報活動に活用できるものにする。オープンスクールでは, 体験内容を検討し, 生徒の希望により選出された「商大スクールガイドSSG」を中心にした取り組みの実施。中学校での説明会には3名の担当をもうけ, プレゼン内容・方法の検討を行う。	・教務開発部会 ・教務
		3 中学校に本校の特色や教育活動について理解してもらうため, 中学校訪問, オープンスクール等を実施し, 2,000名以上の中学生の参加, 総受験者数4000名以上を募り, 定員確保に努める。	中学校別に担当教員を割り当て年2回は中学校を訪問し, 学校の様子や卒業生の情報を提供し, 中学校との良好な関係を築く。パンフレットやチラシを届け, オープンスクールや入試説明会の宣伝を行い, 数多くの中学生に見学体験してもらう機会を設ける。特に今年度は新たに, 「Webオープンスクール」を実施し, 家庭でも動画による説明を視聴できることで, より多くの中学生や保護者に本校の教育内容や特色を知ってもらう。中学校教員対象の入試説明会を開催し, 教育目標や入試形態を説明し, 本校志望者増加につなげる。	・教務開発部会 ・教務
Ⅶ 施設設備の安全・維持管理のための点検を行っていますか。	1 校地・校舎の整備状況を確認し定期点検を励行していますか。	1 過年度実施した, 校舎等非構造部材点検に基づき, 校舎内・外壁の修繕や校舎内破損箇所や備品の整備。激甚災害指定を受けた豊岡グラウンドの整備完了に伴う国への補助金申請。並榎グラウンド武道館跡地の整備。新型コロナ対策での必要備品等の購入。校舎の監督官庁の指導の基づいた安全点検の実施。破損等のある校舎・校地などの随時修理・整備。	近年, 災害が多くなっていることを鑑み非構造部材点検箇所の修繕を中長期的な計画をたてながら着実に実施していく。また昨年, 被害の大きかった豊岡グラウンドの激甚災害指定申請済の補助金の国への対応を行う。新型コロナウイルス感染拡大による対応策を迅速に行う。(必要備品購入)など。電気・ガス・水道・防災設備・冷暖房機器等の定期的な点検を業者に依頼, 実施する。	・事務